

2020年3月2日

公益財団法人 東京海上スポーツ財団

2020年度事業計画書

1. 基本方針

公益財団法人として、事業目的である「スポーツ、教育の振興に関する事業を行い、明るく豊かな国民生活の形成に寄与する」ことの実現に向けて、施設の活用とスポーツ交流事業の運営を中心に、あらゆる努力を行ないます。

資産を有効に活用しスポーツ関連施設の充実をはかるとともに、事業収入・運用収入の増大と費用の削減で収支の改善に取り組みます。

2. 2020年度事業計画

(1) スポーツ・教育関連施設の設置、運営 及び スポーツ・教育等合宿の受け入れ

①「那須スポーツパーク」

イ. 小学生から高齢者にいたる幅広い層の利用者に対して、サッカー、テニス、野球、グラウンド・ゴルフ、フットサル等の各運動施設、宿泊施設等を低廉な料金で提供し、スポーツの普及と振興に積極的に取り組みます。また、公式サッカー大会などへの開催会場の提供も引き続き実施していきます。

ロ. 天然芝3面と人工芝1面の合計4面のサッカー場を有する施設の強みを活かして、より多くのサッカー合宿客の誘致に努めてまいります。また、テニス、グラウンド・ゴルフ、フットサル等についても宿泊利用の積極的な受け入れに努めます。

②「戸田艇庫」

イ. 戸田ボートコース沿いに位置する「戸田艇庫」は、ボート競技を行う学

生や社会人のクルーにとって格好の練習・合宿・競技参加の為の施設として広く利用されています。引き続き低廉な料金で施設およびボートを提供し、水上スポーツの振興に努めます。

(2) スポーツ交流プロジェクトの推進

スポーツを通じた青少年の育成、障がい者の社会参加、高齢者の健康増進、地域社会との交流等を目的とする「スポーツ交流プロジェクト」を推進します。

① スポーツ競技会、スポーツに関する体験会、講習会の開催

イ. 那須スポーツパーク

- Jリーグ2部・栃木SCからコーチを招き、地域のサッカー少年や児童養護施設児童を対象にしたサッカー教室を、大田原市サッカー協会の協力も得てNSPで開催します。
- サッカーのナショナルトレセン、指導者講習会(主催:日本サッカー協会、栃木県サッカー協会)、栃木県高体連主催公式戦等をNSPで開催します。
- NSPが主催している年12回のグラウンド・ゴルフ大会には、関東・東北・新潟・和歌山等から毎回300名近く(宿泊大会は50~100名)のプレイヤーの参加があります。「NSPグラウンド・ゴルフ友の会」会員数も約2,600名に達しており、高齢者のスポーツ参加事業として定着しています。各大会の魅力を向上させグラウンド・ゴルフにおけるNSPファンを増やすことで、更なる競技振興に取り組みます。
- 地元大田原市が取り組んでいる高齢者の健康増進へ向けたグラウンド・ゴルフの普及に関し、「大田原市主催の公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会」を大田原市教育委員会生涯学習課と連携の下、NSPでの開催を支援していきます。

ロ. 戸田艇庫

- スペシャルオリンピックス日本・東京のアスリートを招いてのボート体験会を実施します。

② スポーツ関連ボランティア活動の推進

- イ. 東京海上日動火災保険㈱の運動部が行うスポーツボランティア活動（サッカー、バスケットボール、バレーボール、卓球、陸上）の事務局他の支援を行います。
- ロ. 「全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳大会」の東京予選会および全国大会の運営ボランティアを東京海上グループから募集し、大会運営の支援を行います。

(3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

スポーツ・教育以外での「那須スポーツパーク」、「戸田艇庫」の利用を収益事業として推進します。「那須スポーツパーク」では市町村・地元企業と連携し、別館会議室・会議棟等の会議施設を活用した各種研修・会議・会合・パーティーの開催、宿泊利用の促進に取り組んでいきます。戸田艇庫では、東京海上グループレガッタを共催し運営支援を行います。

以上